



すてきな みんなの えがおが



いっぱい!

大阪市立墨江幼稚園
2026.3 No.11 最終号
4歳児 ばらぐみ

少しずつ春の陽ざしを感じられるようになり、ばら組で過ごした一年も、いよいよ終わりを迎えました。

子どもたちは日々の遊びや様々な経験を重ねながら、心も体も大きく成長したように思います。

3学期は生活発表会やお別れ会など、さまざまな経験を通して友だちと気持ちを合わせる姿や、進級への期待を感じる姿が見られました。そんな子どもたちの様子を振り返りながら、この一年の歩みをお伝えしたいと思います。

2月

2月の初めには、生活発表会の本番を迎えました。みんなで作った、ばら組のステージ

たくさんのお客さんやいつもと違う雰囲気緊張する様子も見られましたが、友だちと顔を見合わせたり、

これまで楽しんでできたことを思い出したりしながら、大きな声で台詞を言ったり歌ったりと、それぞれが自分らしく表現する姿が見られました。友だちや保育者に支えられながら安心して舞台上に立ち、力を発揮する姿に子どもたちの成長を感じました。発表会後も劇の台詞を口にしたり歌を歌ったりと、余韻を楽しむ姿が見られ、「またやりたいね」「楽しかったね」と話す様子から、経験したことが自信につながっていることが感じられました。その後は年長児のお別れ会に向けて準備を始めました。「ありがとうって言いたい」「よろこんでくれるかな」と年長児の姿を思い浮かべながら言葉やプレゼントを考え、感謝の気持ちをもちながら友だちと気持ちを合わせて取り組みました。

12か月の歩み

この一年、ばら組にはさまざまな出会いがありました。春に10人でスタートしたクラスに、新しい

仲間が少しずつ加わり、気づけば13人のばら組さん☆初めは戸惑う姿も見られましたが、遊びや生活を共にする中で少しずつ関わりが生まれ、笑顔を分かち合う姿が増えていきました。そして、子どもたち一人ひとりが好きなことや興味のあること、夢中になれることに出会いました。また、嬉しいことや楽しいことを一緒にしたい!と思える友だちに出会いました。楽しさや嬉しさ、喜びを分かち合う一方で、思いがぶつかり合う場面も見られるようになりました。そんな時、「どうしてそうしたのかな」「どんな気持ちだったのかな」と、それぞれの背景や思いに耳を傾け、心を寄せながら関わってきました。相手の気持ちに気づいたり、自分の思いを言葉で伝えたりすることは、この年齢の子どもたちにとって大切な経験です。「こんな時はどうしたらいいのかな」「どんな言葉で伝えたらいいのかな」と一緒に考えながら、少しずつ人との関わり方を学んできました。遊びは人と人をつなぐ大切な力です。友だちと夢中になって遊ぶ経験や、友だちから自分の存在を認められる経験を重ねる中で、子どもたちは自信や自己肯定感を育んできました。葛藤を乗り越えながら関係を作っていく経験を通して、相手の存在を意識しながら関わろうとする姿も見られるようになりました。ばら組の経験や13人で過ごした時間が、子どもたち

一人ひとりの自信につながっているといいなと思います。これからも友だちと協力し合ったり「やってみたい!」という気持ちを大切にしながら、さまざまな経験を通して大きく成長し、未来に向かって羽ばたいていくと信じています。☆

1月

3学期が始まり、久しぶりに友だちと会えた喜びの中で遊びが再開しました。

生活発表会に向けた劇遊びや表現遊びでは、子どもたちの大好きな「どうぞのいす」の絵本を題材に、表現遊びを重ね、動物たちの気持ちを一つ一つ丁寧に読み取りながら遊びを進めていくうちに、「ここは跳んでみよー!」「歩き方はちよこちよこでー」「一緒にやろう!」と、友だちと声を掛け合いながら取り組む姿が見られるようになりました。友だちの姿から刺激を受けたり、自分の思いや考えを動きや言葉で表現する中で、一緒に表現する楽しさを感じていくようでした。

3月

ひな祭りや年長児のお別れ会、一日入園など、さまざまな経験をしました。お別れ会では、司会に挑戦したり、歌やプレゼントの準備をしたりと、「年長さんのために」と温かい気持ちをもちながら取り組む姿が見られました。これまで優しくしてもらったことを思い出しながら、「ありがとう」の気持ちを届けようとする子どもたちの姿がありました。年長児の保育修了式にも在園児として参加し、落ち着いた気持ちで式に臨む姿が見られました。年長児の姿を見つめながら、憧れや進級への期待を感じている様子もうかがえ、「もうすぐゆりさん」と話す姿も見られました。一日入園では、新しく入ってくる小さなお友だちに優しく声を掛ける姿が見られ、頼もしいお兄さん・お姉さんとして関わろうとする様子もうかがえました。

お別れ会

優しい気持ちが広がる時間

最後に...

この一年、どんな時も温かく見守り、支えてくださったこと、大変感謝しております。保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、子どもたちと共にたくさんの経験を重ねることができました。子どもたちの笑顔や成長の瞬間を近くで見守ることができたことを心から嬉しく思っています。

そして、好きなことも、得意なことも、それぞれ違う13人ですが、みんなで過ごした毎日は、かけがえない時間でした。これから先、園庭やどこかでばら組のみんなが笑っている姿を思い出した時、きっと私は「ああ、いいクラスだったなあ」と思うのだと思います。

ばら組のみんなのことが大好きです♡

本当にありがとうございました♡

ばら組担任：桐田里沙



「やってみたい!」が広がった表現遊び



お別れ会



一緒にやるってなんだからうれしいね



やりこんで、みんなの気持ちを込めて



ばら組で過ごした毎日はキラキラのステキな時間でした☆